

常盤北小 コミュニティ・スクールだより

第3号 令和5年3月24日 さいたま市立常盤北小学校

～第3回コミュニティ・スクール（3校合同）を開催しました～

令和5年2月27日（月）、本年度3回目となる学校運営協議会が常盤小学校にて開催されました。常盤中学校・常盤小学校・常盤北小学校の3校合同の全体会では、第1回運営協議会以降の各校での取り組みが紹介され、その後各校毎の分科会に分かれて熟議を行いました。

<市教委への要望結果について>

常盤北小分科会では、まず、前回の運営協議会で出された、児童の安全確保のための3点の教育委員会への要望について、現段階での回答が説明されました。

- ①警備員の全日配置→「予算の関係上難しい。」
- ②門へのインターホン設置とオートロック化
→「校門を閉め、通用口とインターホンでの対応を徹底してほしい。」
- ③正門での通行センサー設置とICタグの導入
→「全市的に導入する予定はない。」



3校合同学校運営協議会全体会（常盤小学校）

<令和4年度学校評価結果について>

次に、令和4年度の「学校評価（教育アンケート）結果」並びに「学校自己評価システムシート」について学校側より説明し、委員の皆さんからは以下のようなご意見をいただきました。

- ・タブレットを使った学習は一人でもできるが、考えさせる授業には生身の先生が必要。自分の頭で考える授業に力を入れてほしい。
- ・スポーツでも上から目線で子どもたちに指導していると、受け身の対応しかできない子どもになってしまう。自己肯定感を高めるためには小さなことでも褒めてあげる声掛けが大切と思う。
- ・「自分の思いを言葉にする力」や「発表する力」は「考える力」とセットになっている。「言葉にして人に伝える力」を育ててほしい。
- ・子どもが得意と思っていることを家でも褒めることが大切と思う。子どもの話をちゃんと聴いてあげるところから会話が生まれ、会話をするとところから伝える力もついていくと思う。
- ・学童では、子ども達が話してくれた最初の言葉を大切に「こんなことがあったので聴いてあげてください。」と情報提供している。それをきっかけに親子での会話が始まり子どもの理解につながっていったらと思う。
- ・地域での様々なイベントに、子どもと保護者が一緒に参加しながら交流していくことが重要と思う。

<学校諸集金の口座振替処理について>

また、教材費等の諸集金を口座振替に出来ないかとの意見が出され、学校長より「引き落としにすれば事故防止にもなる、来年度からの実施を検討したい。」との回答がありました。

<令和5年度学校運営等に関する基本的な方針の承認について>

次に、来年度の学校運営等に関する基本方針について、以下の4点を説明し承認をしていただきました。

「子どもが伸び合い、地域に信頼される学校」～一人ひとりのWell-being（幸せ）の実現を目指して～

- ①魅力あふれる授業の創造と真の学力の養成→ICT活用、個別最適な学び、基礎学力の向上、読解力の育成。
- ②「自己肯定感・自己有用感を高める、安心・安全できれいな学校づくり」→輝ける場を設定、教育相談体制の充実、きめ細やかな声掛け。
- ③「コミュニティ・スクールとして、地域と共にある学校づくり」→常盤中学校生徒会等との連携、保護者・地域との協働。
- ④「教職員一人ひとりに応じた働き方改革と意欲に満ちた教職員集団の醸成」→効果的・効率的な良い仕事、自主研究発表、読解力向上授業実践。